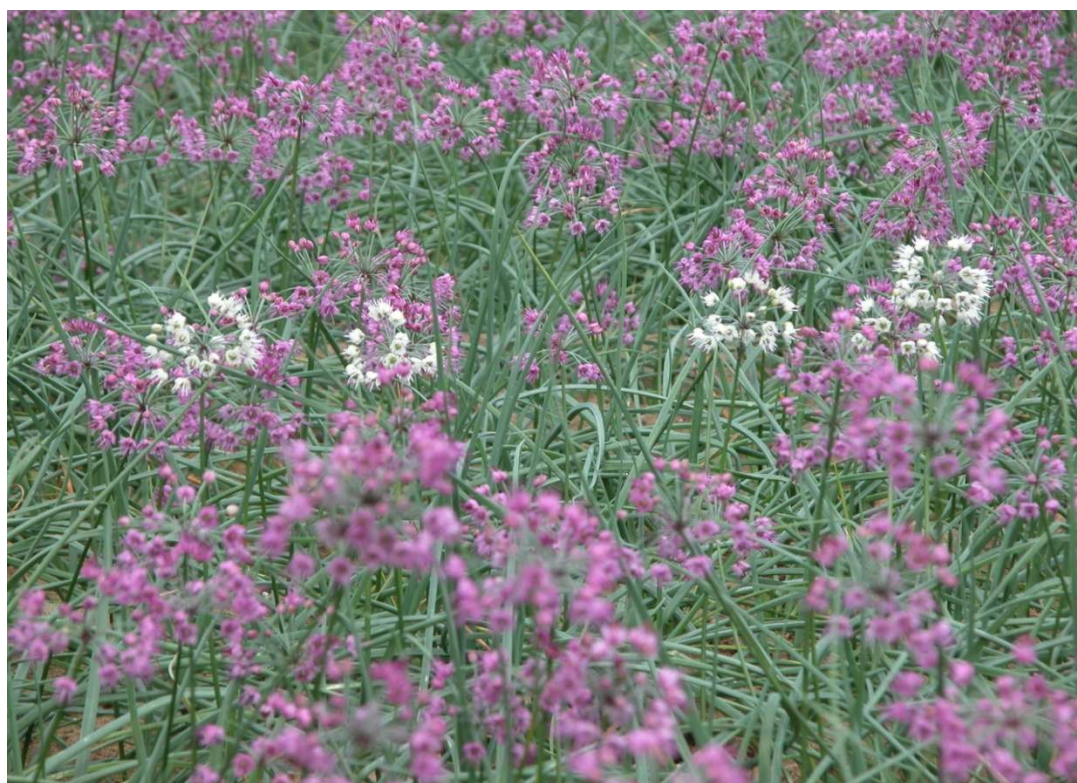


福部町 地域コミュニティ計画

平成22年4月



福部町特産のらっきょうの花：鳥取市の花

福部町むらづくり運動推進協議会

目 次

I	むらづくり運動の経過	2
1	むらづくり運動の組織の発足	2
2	むらづくり運動の重点目標の設定	2
3	主な事業	3
II	新たな出発	5
1	新しい組織へ	5
2	新しい重点目標の設定	5
3	地域コミュニティ計画の取組	7
	地域行事等の実態調査	8
	調査の回答状況	10
III	地域コミュニティ計画	14
	重点目標1 生き生きとした地域を創造する運動	14
	重点目標2 美しい生活環境を創造する運動	14
	重点目標3 青少年の健全な発達を促進する運動	15
	重点目標4 高齢者の社会参加を進める運動	16
	重点目標5 資源を大切にし循環型社会を創造する運動	17
	重点目標6 安全・安心のむらづくりを進める運動	18
	重点目標7 地域の伝統文化・行事を継承する運動	19
	重点目標8 ふれあいを大切にする地域を創造する運動	19

I むらづくり運動の経過

1 むらづくり運動の組織の発足

福部村は、昭和60年に開催された「わかとり国体」で、「銃剣道」競技の会場となりました。この国体を成功させるために組織された住民運動の組織、「村民運動推進協議会」が中心となって、県内外から競技の観戦においでになる人々を気持ちよくお迎えするために、あいさつ運動や花づくり運動を実践してきました。

国体終了後、盛り上がった住民運動をさらに継続・発展させたいとの思いから、昭和61年8月31日に福部村むらづくり運動推進協議会を発足しました。

2 むらづくり運動の重点目標の設定

協議会の発足前から実践してきた「あいさつ運動」や「花づくり運動」をはじめ、協議会として取り組むべき運動の重点目標を定めました。

とりわけ、昭和56年から取り組んでいた「部落公民館」を全集落に整備することを重要な目標として位置付けました。

以下が、発足時に制定した重点目標です。

(1) 活力とうるおいのある地域社会を創造する運動

地域社会の快適な生活環境や、地域間の連帯意識の醸成など、新しいコミュニティの形成を目指した運動を推進する。

特に、住民によるむらづくり計画や実践、地域文化を高める活動を積極的に進めることによって、自治と連帯による活力ある地域社会を創造する。

そのため、地域社会で活動の中核となる自治会、公民館の組織の充実、活動の重視と各種団体の活動等も助長する。

(2) 郷土美化を進める運動

私たちの地域を点検し、よりよい生活環境を創造するため、花と緑のある美しい郷土を築くため、花づくり、地域内の清掃、河川の清掃、整頓など郷土の美化を進める。

(3) 公衆道徳を高める運動

村民一人一人の道徳心の啓発を図り、明るく和やかな社会形成に努める。そのため、時間励行を呼び掛け、交通事故の防止の徹底、明るい選挙の推進、挨拶の励行、公共物を大切にす運動等の徹底を図る。

(4) 青少年の健全な発達を促進する運動（健全な家庭づくり運動）

青少年の問題行動が大きな社会問題となっている昨今、青少年の健全育成を主眼において、家庭、地域社会、学校が連携を深め、かつ役割や機能を確認め合いながら、地域の教育力を高めていくような運動を推進する。

(5) 新しい価値観を確立する運動

「真の豊かさとは何か」が問われる時代となり、物と心の両面にわたって調和のとれた生活を目指して、新しい生活の価値観をみんなで見出していくような運動を推進する。

(6) 高齢者の社会参加を勧める運動

地域社会で、高齢者の健康維持、増進を図るとともに、高齢者のもつ経験、能力を生かして、高齢化社会に対応する地域社会の形成を目指した運動を推進する。推進にあたっては、高齢者の自主性を尊重し、青壮年等世代間の理解や交流を深め、高齢化問題は自分たちの問題として考えていくよう活動を推進する。

(7) 資源とエネルギーを大切にする運動

我が国は、エネルギー資源に乏しく、地球の資源の有限性と環境汚染防止という観点からも、省資源、省エネルギー運動をさらに進める。

(8) 国際感覚を高める交流の運動

ますます国際化が進み、地域の日常生活でも外国からの影響が大きくなる。この実情を踏まえ、国際感覚を高めながら、開かれた地域社会の発展を図らなければならない。そこで、それぞれの国の伝統や文化の違いを認め合って、お互いの立場を理解し、協力関係を作り出していくことが大切である。そのため、講演会や海外視察の発表など、村民の国際感覚を高めていくような活動を考究し、推進する。

3 主な事業

以上、八つの重点目標を達成するために、次のような事業に取り組みできました。

(1) 集落公民館組織の整備と活動の支援

集落単位で公民館長、公民館主事並びに運営委員会を設置して組織を整備し、各集落ごとに事業に取り組みできました。

協議会としては、財政的な支援や情報交換の場として、公民館長・公民館主事の会を設けて集落公民館の活動を支援してきました。

(2) 花づくり運動の推進

花づくり運動は、協議会発足当初から取り組んできた事業です。集落ごとに公民館が中心となって、花壇やプランター等に花を植えて管理

したものを9月中旬にコンクールを実施しています。

現在では、21の集落と学校・保育園等も参加しています。



優良賞 小学校の作品



最優秀賞 細川集落の作品

(3) 町内一斉清掃の実施

7月の第1日曜日と10月の第3日曜日を一斉清掃の日と定め、集落単位で市道の草刈りや側溝の清掃、河川や公園などの除草作業を行っています。

市道の除草作業



(4) むらづくり運動推進大会の開催



地域づくりについて、先進地の事例などを盛り込んだ講演や、町内各集落の公民館が主体となって進める、活動や団体の取り組み事例の発表等、今後の運動の発展に努めています。

(5) あいさつ運動の推進

通学路である県道福部停車場線を、国道9号県交差点から福部駅までを「あいさつロード」と定め、毎月1日から7日まで幟を設置して、あいさつ運動の啓発を行っています。



幼稚園フェンスに設置の幟

Ⅱ 新たな出発

1 新しい組織へ

鳥取市では、平成20年度から市民と行政による「協働のまちづくり」を進め、地域の問題や課題を解決するために、地区公民館単位で「まちづくり協議会」を設立することとなりました。

福部町では、これに合わせて規約や運動の重点目標を見直して、新たな組織とすることとしました。

平成20年11月26日に総会を開催して、新しい規約と運動の重点目標を定めました。

2 新しい重点目標の設定

新しい、運動の重点目標は、従来の目標で現実にそぐわないものや、必要になった新たな課題などを盛り込んで、次のような目標としました。

(1) 生き生きとした地域を創造する運動

生き生きとした地域を創造するには、地域の人々によるむらづくりの計画の樹立やその実践を積極的に進めることが必要である。

そのため、地域社会で活動の中核となる自治会及び自治公民館の充実や地域間相互の連携を図り、各種団体の活動なども支援しながら地域づくりを推進する。

(2) 美しい生活環境を創造する運動

地域の人々が生き生きと生活するためには、花と緑のある美しい生活環境が欠かせない。

美しい地域を造るため、花づくり運動、地域内の清掃、河川の清掃などを通して美しい環境づくりを進める。

また、美しい環境造りを阻害している要因としてごみ問題に起因する不法投棄の問題がある。

この問題は、行政や警察の努力はもちろんであるが、町民あげて監視の目を養い、不法投棄をさせない環境づくりに努める。

(3) 青少年の健全な発達を促進する運動

青少年の問題行動が日常的になっている今日、青少年問題の重要性を改めて確認し、家庭・地域・学校が連携を深め健全な育成運動を進める。

特に、地域や公民館行事への積極的な参加を促し、地域社会とのつながりを深めることが健全育成にとって重要である。

こうした中から、社会全体で役割や機能を確かめ合いながら、地域の

教育力を高めていくような運動を推進する。

(4) 高齢者の社会参加を進める運動

高齢者の健康維持・増進を図るとともに、高齢者のもつ経験、能力を生かして、高齢社会で自らの生き甲斐や存在感をもてるような地域づくりを進めなければならない。

推進にあたっては、高齢者の自主性を尊重しながら、青少年等との世代間の理解や交流を深めるとともに、地域活動への積極的な参加を促し、地域を担う一員であるとの意識を高めるよう取り組みをする。

(5) 資源を大切にし循環型社会を創造する運動

我が国は資源に乏しい国でありながら、大量生産・大量消費の社会構造の中で多くの資源を無駄に使い、地球環境に少なからぬ影響を与えてきた。

資源の有限性や環境汚染防止の観点から、可能な限り物の再利用や使い回しを実践し、循環型社会構築の運動を強化する必要がある。

また、地球温暖化にも配慮し、冷暖房を適度な温度にするなど省エネルギー意識も高める運動を進める。

(6) 安全・安心のむらづくりを進める運動

子供が被害を受ける事件・事故が多発する今日、地域が一体となって見守る運動がさらに重要となっている。大人が率先して声をかけ、登下校時の見守り活動などを展開し、町民が安心して生活できる環境をつくる運動を進める。

また、台風や地震等の災害に備えて、一人暮らしの高齢者や移動手段を持たない高齢者世帯などを把握し、確実な避難誘導を可能にするため、地域をあげて安全確保の体制づくりを進める。

(7) 地域の伝統文化・行事を継承する運動

先人たちが残した地域に伝わる文化や行事はそれぞれ特色をもって今日まで伝承されている。春・秋の祭礼やお盆や彼岸にまつわる行事など多くの行事が存在しており、これを後世に伝えていくことは現在に生きる私たちの責務であると考えます。

町内に存在する伝統行事・文化を把握し、長く伝承されるよう運動を進める。

(8) ふれあいを大切にする地域を創造する運動

地域の間人間関係が希薄になりつつある今日、挨拶を交わしあい、時間を厳守し、公の物を大切にして公共ルールやマナーを守るなど、一人一人が豊かに暮らせるふれあいを大切にする地域づくりを進める。

3 地域コミュニティ計画の取組

(作成の方針)

地域コミュニティ計画は、福部町が取り組んできた「むらづくり運動」をさらに発展、充実させるため、運動の具体的目標を定めようとするもので、作成にあたって次のような方針を定めました。

- (1) 計画は、むらづくり運動の重点目標を具体化するための方策を定めるものとする。
- (2) 作業を効率的に進めるため、部会を設けて担当する重点目標について検討する。
- (3) 部会での協議内容は、適宜、部長会を開いて調整を図る。
- (4) 設置する部会と担当する目標は、次のとおりとする。

1、地域学習部会

- ・生き生きとした地域を創造する運動
- ・高齢者の社会参加を進める運動
- ・地域の伝統文化・行事を継承する運動
- ・ふれあいを大切にする地域を創造する運動

2、環境整備部会

- ・美しい生活環境を創造する運動
- ・資源を大切にし循環型社会を創造する運動

3、安全・安心部会

- ・青少年の健全な発達を促進する運動
- ・安全・安心のむらづくりを進める運動

(作成の経過)

計画の作成にあたって、福部町むらづくり運動推進協議会の理事及び委員の中から、各部会が担当する重点目標への関わりや、所属団体などを考慮してお願いした委員で構成する部会を設置しました。

部会は、7月末に開催した合同部会以降、9月から11月までおおむね月1回開催して素案を検討しました。

このうち、地域学習部会で、地域の行事や公民館の実態を把握する必要があるということになり、各集落に実態調査をお願いしました。

8ページから13ページまでに、調査票と集計結果を掲載しています。

各部会での協議を踏まえて、それぞれの協議事項で関連する部分の調整を正副部長会で行い、2月と3月の理事会を経て原案とし、4月に開催した総会において議決されたものです。

調 査 票

集落名	
-----	--

1. 各集落の行事（伝統行事は除く）について

各集落で実施されている行事のうち、集落として最も重要と考えている行事についてお答えください。（例）納涼祭、公民館の集いなど

項 目	調 査 内 容
行 事 名	
現 状	<input type="checkbox"/> 開催時期 <input type="checkbox"/> 行事内容 <input type="checkbox"/> 参加人数
行事を続ける上で問題・課題と感じている事柄	

※重要と考えている行事が複数ある場合、参加者が多い行事を優先して記載してください。

2. 伝統行事・伝統芸能について

各集落で実施されている行事のうち、次の内容に該当するものについて一つお答えください。（例）祭りでの獅子舞など（実施団体：自衛消防団員）

- ①毎年又は、隔年で実施している行事
- ②集落で残したい、継続していきたい行事
- ③集落で復活させたい行事

項 目	調 査 内 容
行 事 名	
現 状	<input type="checkbox"/> 開催時期 <input type="checkbox"/> 行事内容 <input type="checkbox"/> 実施団体等
行事を続ける上で問題・課題と感じている事柄	

3. 高齢者、青少年がかかわっている行事（事業）について

各集落で実施されている行事（事業）のうち、次の内容に該当するものについてわかる範囲でお答えください。

- ①集落内の行事等で高齢者、青少年が役割を持って参加している行事
（例）納涼祭の運営委員、公民館祭りの出し物の割り当て参加など
- ②老人会、PTA、青年団などが主体的に実施する行事
（例）祭りの獅子舞、老人の集いの開催、防火のつどいなど
- ③上記の事業で、集落の人が広く参加できる行事等

行事名	高齢者、青少年別	役割等
(例) 祭りの獅子舞	青年団	祭りでの獅子舞を担当
(例) 公民館祭り	高齢者	有志でステージ発表

※「高齢者、青少年別」欄は、団体名をそれ以外の場合は、「高齢者」、「青少年」のどちらかを記載してください。

4. 公民館主事の任期について

公民館主事の任期についてお答えください。

任 期	公民館主事の決め方
年	(例) 総会で決定 公民館運営委員会で決定など

※ 「任期」が定めてない場合は、平均又は前任者の任期を記入してください。

アンケートご協力ありがとうございました。

資料 1

■アンケート回答内容（集落行事）

○各集落で実施されている行事のうち、もっとも重要と考えている行事と実施状況

集落名	行事名	開催時期	行事内容	参加人数	課題・問題
清内谷	春祭り	—	—	4人	人数が少なく困っている。
左 近	納涼祭、ボーリング大会、とんど祭	8月	屋台、ゲーム、カラオケ	30人～50人	—
久志羅	納涼祭	隔年・8月	中と久志羅の合同開催	50人～60人	予算の関係で隔年開催、参加者の減少
中			花火、福引、カラオケ、ゲーム等		リーダー及び若者不足、
上 野	山の神社	11月3日	—	10人	自由参加
蔵 見	納涼祭	8月	盆に開催し、帰省客の参加等で盛り上げる。	150人	消防法により花火ができず以前より地味である。
南 田	納涼祭	8月	盆踊り、カラオケなど	80人	—
八重原	納涼祭	8月	—	70人	参加者の問題、行事内容の検討
高 江	納涼祭	8月	カラオケ、ゲーム、花火、芸能等	65人	行事内容のマンネリ化、高齢者に配慮した行事内容
駅 前	芋煮会	10月	芋煮、おにぎり、ビール等飲食とゲーム等	100人	参加者数をいかに増やすか
砂 丘	グランドゴルフ大会	6月	グランドゴルフ大会（コミュニケーションと体力アップ目的）	10人	参加人数が年々減少している。
浜湯山	納涼祭	8月	屋台、ゲーム、花火、イベント各種	100人	新しい企画を計画したいが見つからない。
山湯山	納涼祭	9月	演芸、ゲーム、バザー、金魚すくい他	150人	農作業の関係で開始・終了時間が遅くなる。世話人が同じ人になりがち
東湯山	納涼祭	7月	各種ゲーム、金魚すくい等	100人	年々参加する子供が減少してさみしい。
海 士	納涼祭	7月	ゲーム、傘踊り、各種屋台	200人	少子化により、役割分担等運営が厳しい。
南海士	納涼祭	8月	飲食等による世代間交流	200人	経費が増大し、不参加世帯がある。
細 川	部落の集い	2月	スポーツ・レクリエーション	60人～70人	参加者の意識（希薄化）
岩 戸	納涼祭	8月	他地区の伝統芸能や花火大会等	300人	公民館運営役員等の活性化
浪花団地	納涼祭	8月	ゲームや屋台等	100人	—

資料 2

■アンケート回答内容（伝統・芸能行事）

○各集落の伝統行事・芸能のうち残したい、継続したいと考えている行事と実施状況

集落名	行事名	開催時期	行事内容	実施団体	課題・問題
清内谷	部落祭り	—	—	集落	—
左 近	春祭り獅子舞	4月	獅子舞	自衛消防団	担い手不足で継続が困難な状況
久志羅	春祭り獅子舞	4月	獅子舞	集落	若者がやっていたがいなくなってきた
上 野	とんどう	1月10日	—	—	自由参加
中	春祭り獅子舞	4月	獅子舞、さかきかつぎ	氏子組合	担い手不足、練習時間確保困難
蔵 見	春祭り大祭	5月	獅子舞、さかきかつぎ、神事	青年団、役員	高齢化に伴い後継者不足
南 田	春祭り獅子舞	4月	獅子舞	保存会	保存会の高齢化
栗 谷	春祭り獅子舞	3月	獅子舞	青年団	高齢化による青年不足
八重原	春祭り獅子舞	3月	獅子舞	自衛消防団（有志）	人手不足、特に笛を吹ける人の確保
高 江	数珠操り	3月	奉納念仏万遍、数珠を担いで行う。	自衛消防団、老人会	担い手の確保
山湯山	春祭り	4月	獅子舞、おとうやの引き継ぎ	集落	獅子舞の担い手の確保、おとうやの簡素化（制約時間、経費面）
海 士	春祭り	4月	獅子舞	消防団	団員の減少により、舞手の確保が厳しい
細 川	春祭り獅子舞	4月	獅子舞	集落	青年団でやっているが団員の減少
岩 戸	夏祭り	7月	獅子舞、榊、屋台、おどり	祭実行委員会	神輿が10年来できないので総会で協議

資料 3

■アンケート回答内容（高齢者、青少年）

○各集落で実施されている行事のうち高齢者、青少年がかかわっている行事

集落名	行事名	高齢者、青少年別	役割等
左 近	祭の獅子舞	自衛消防団(青年)	獅子舞担当
	納涼祭	自衛消防団(青年)	屋台、設営等
久志羅	納涼祭	自衛消防団	会場の設営等の準備を担当
中	消防訓練	自衛消防団	消防訓練の実施
蔵 見	祭の獅子舞	自衛消防団(青年)	獅子舞担当
	納涼祭	婦人会、青年団、老人会、役員	運営は役員で、婦人会、青年団、老人会が協力している
南 田	納涼祭	実行委員会	屋台運営、進行役
	獅子舞	保存会、子供会	子供たるみこし
	仏送り	婦人会	記載なし
栗 谷	獅子舞	青年団	獅子舞担当
八重原	納涼祭	青少年	くじ引き大会、花火
高 江	数珠操り	老人会	鐘つき、回るカウント (鐘の周りを1000回まわる)
山湯山	公園、バス停の清掃	老人会	草取り、ごみ拾い
	川清掃	自衛消防団	川の草刈り、土砂さらえ
	納涼祭	老人会、自衛消防団	役員
海 士	納涼祭	親子会	屋台ジュースの販売、バザー券の販売
細 川	獅子舞	青年団	獅子舞担当
	集落の集い	高齢者(老人会)	スポーツ・レクリエーション及び老人会の童謡披露
岩 戸	春・秋の一斉清掃	自衛消防団、高齢者、親子会	公園、溝清掃
	祭の獅子舞、榊、おどり	自衛消防団、小学生	祭の獅子舞、榊、おどり
	納涼祭	高齢者、親子会	有志で発表

資料 4

■ 公民館主事の任期について

番号	集落名	任期(年)	公民館主事の決め方	備考
1	清内谷	1	区長兼任	
2	左近	3～4	総会で決定	
3	久志羅	1	区長兼務	
4	上野	1	—	
5	中	2	—	
6	蔵見	1	—	
7	南田	2	—	
8	栗谷	1	区長兼務	
9	八重原	3	総会で決定	
10	箭溪	—	—	
11	高江	1	婦人会長	
12	駅前	2	総会で決定	
13	砂丘	1	総会で決定	
14	浜湯山	1	年末総会で決定	
15	山湯山	特に定めがない	区長による推薦	
16	東湯山	1	前年の区長	
17	海士	3	公民館長又は区長が依頼	
18	南海士	1	区長兼務	
19	細川	2	—	
20	岩戸	2	区長指名又は公民館運営委員会で決定	
21	浪花団地	1	—	

〔任期別集落数〕

任期	集落数	状況等
3年任期以上	3集落	1年～2年任期が大半である。
2年任期	5集落	
1年任期	11集落	
特に定めない	1集落	

Ⅲ 地域コミュニティ計画

重点目標1 生き生きとした地域を創造する運動（地域学習部会）

『現状と課題』

納涼祭や花づくりなどの地域行事は、各集落の自治公民館が中心となって取り組んでいますが、その取組体制や事業の盛り上がりなどは、必ずしも全町一律ではありません。その原因として、世話役等の人材確保やそれに起因する事業のマンネリ化などがあります。

そのため、集落公民館と集落行事の活性化を図る方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
集落公民館の活性化を図る ・ 公民館主事を専任とし、原則3年以上勤めるよう啓蒙する。併せて、公民館長の専任化も進める。 ・ 運営委員会を設置して、事業への参画を進める。	住 民	短 期	
納涼祭等の集落行事の充実を図る ・ マンネリ化、取組体制などの課題解決に向け、公民館長・主事会などの情報交換会を設ける。 ・ 自治会役員や公民館役員のみでなく、こどもや高齢者などの参画を促す。	住 民	短 期	
地域づくりに係る学習機会の充実を図る ・ むらづくり推進大会が講演会のみでなく、地域づくりの実践活動の学習の場とする。	住 民	短 期	

重点目標2 美しい生活環境を創造する運動（環境整備部会）

『現状と課題』

花づくりや町内一斉清掃など町内全域で取り組んでいますが、これも地域によって格差があります。

また、町内一斉清掃は年2回の清掃日は定めてありますが、地域の事情により、期日を変更して取り組んでいるところも多くあります。

これらの問題を理解しながら、町内全域で取り組み、多くの人が参画する、住民各々が果たすべき役割などの方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
<p>花づくり運動を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落や町内の事業所・団体等の取組をさらに促進する。 ・多くの人の目に触れる場所に大規模な花壇を設置する。例えば、砂丘など 	住 民	中 期	
<p>植樹などによる緑化運動を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一株植樹などを利用して、地域の公園や広場、市の公共施設等の緑化を進める。 	協 働	中 期	
<p>町内一斉清掃の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全町が、一斉清掃日に取り組めるよう働きかける。 ・学校や公民館など市の公共施設の清掃を支援する。 ・子どもや高齢者などの参加を促し、異世代間の交流を図る。 	住 民	短 期	
<p>ペットマナーアップ運動を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットの散歩時に糞の始末用の袋を持参するよう啓発をする。 	協 働	短 期	
<p>下水道接続の普及促進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道、集落排水施設を含め、町内の下水道普及率は100%となっており、水洗化率向上を目指して啓発する。 	行 政	中 期	

重点目標3 青少年の健全な発達を促進する運動（安全・安心部会）

『現状と課題』

現在、福部町内では青少年団体である「子ども会」や「高校生グループ」などの組織がありません。

このことが一因かもしれませんが、小学生や中・高校生の自主的な地域活動が十分とはいえず、地域の行事等でお客さんになっている傾向があるように思われます。

これらの少年たちの地域での出番づくりのため、行事等において企画や実施に参画し、アイデアを活用できるような方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
<p>小・中学生の地域活動参加を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花づくり、祭礼及び納涼祭などの地域行事に参画を促す。 ・自主活動取り組みに向け、成人指導者の確保に努める。 	協働	中期	
<p>高校生の地域への参加機会を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や町内の行事に高校生の参加機会を設け、参加を呼びかける。 	協働	中期	

重点目標4 高齢者の社会参加を進める運動（地域学習部会）

『現状と課題』

高齢者の自主団体「老人クラブ」への参加者が減少し、さらにクラブ自体が高齢化している現状があります。

また、町内での社会活動への取り組みはあるものの、地域における行事への関わりは地域間で格差はありますが、少ない状態です。

高齢者のもつ知識や経験を生かせるよう、地域での出番を設ける方策が必要です

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
<p>地域活動への参加の機会を確保する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花づくりや清掃活動など、地域での出番、役割を設ける。 ・高齢者の経験を生かして、青少年活動への指導的な関わりや、交流を図る。 	住民	中期	

重点目標5 資源を大切に循環型社会を創造する運動

(環境整備部会)

『現状と課題』

生活の利便性が高まるとともに、大量生産大量消費が進み、多くの資源を消費してきました。特に、スーパーなどで受けとるレジ袋は、年間数百億枚が使用されているといわれ、地球温暖化、環境悪化の一因となっています。

さらに、大量に消費される物に関わってごみが発生しますが、福部町内にはこれに関わる不法投棄の場所が大変多くあります。これをなくすには町を挙げて監視の目を養うことが大切です。

これらの課題に対処し、環境を守るための方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
3R運動の実践強化を図る ・リデュース、リユース及びリサイクルの3Rの大切さを啓発し実践する。 ・ペットボトルのふたなどの収集を啓発し、再利用を実践する。	協働	短期	
ノーレジ袋運動を実践する ・マイバック持参による省資源運動を実践する。	協働	短期	
食用廃油の収集に取り組む ・廃油の収集に向けて関係機関と調整を図る。 ・収集に向けてステーションを検討する。	住民	中期	
不法投棄監視の体制を強化する ・集落の廃棄物減量化推進員を中心に集落区域の監視巡回を実施する。 ・パトロールの会と連携して、監視強化を図る。 ・「不法投棄パトロール実施中」などのステッカーを作成し、車に貼付して注意を促す。	協働	中期	

* 3R運動とはリデュース、リユース、リサイクルの頭文字3のRを表したものです。

リデュースはゴミの抑制を、リユースは再利用を、リサイクルは再生を意味する言葉です。

重点目標6 安全・安心のむらづくりを進める運動

(安全・安心部会)

『現状と課題』

現在、児童・生徒の登下校に関しては、PTA、パトロールの会や更生保護女性会などの活動で見守り運動が実施されていますが、下校時に関しては学年等によって時間の相違があることや、運動に参加する人の都合などで必ずしも十分とは言えません。

加えて、通学路には照明が十分でないため、安全面の改善が必要な個所もあります。

また、近年突発的に起きる豪雨や地震等の災害に対して、一人暮らしの高齢者や移動手段を持たない高齢者世帯なども安心して暮らせるような支援の方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
地域パトロールを充実強化する ・パトロールの関係団体の連携を強化する。 ・見守りボランティア（散歩時間帯の見守り等の協力）をより多く確保する。	住 民	短 期	
通学路の安全確保を図る ・通学路の街路灯を充実する。 ・農作業中の見守りとあいさつ運動を推進する。 ・こども110番を点検し、協力者の拡大と周知を図る。	協 働	中 期	
高齢者の安全確保を推進する ・災害時の支援体制を確立する。 ・災害時要援護者支援制度の周知を図り、支援者確保に協力する。 ・一人暮らし老人への声かけ運動を推進する。	協 働	中 期	

重点目標 7 地域の伝統文化・行事を継承する運動（地域学習部会）

『現状と課題』

各地域で行われている伝統行事、とりわけ春・夏及び秋の祭礼に関しては、以前と比べて出し物なども減少し、小規模になりつつあります。

特に、獅子舞については、若者人口の減少による担い手不足から、多くの地域で実施に苦勞しています。

連綿と引き継がれた伝統文化・行事などを守り、後世に伝えるための方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
獅子舞の伝承のため担い手の確保に努める ・獅子舞経験のある地域出身者を活用する。 ・担い手確保のために、青少年を含めた保存会の組織化を図る。	住 民	中 期	

重点目標 8 ふれあいを大切にする地域を創造する運動

（地域学習部会）

『現状と課題』

福部町が取り組んでいる「あいさつ運動」は、人と人とのふれあいや地域連帯のため、また子供の安全確保のために重要な施策であると考えています。

現在の運動は、あいさつロード（国道9号県交差点から福部駅まで）を中心とした運動であるため、多くの町民が関わる全町的な運動にするための方策が必要です。

『実施目標』

取組内容	取組主体	目安	備考
あいさつロードを全町的に拡大し、あいさつ運動を充実する。 ・あいさつロードのみならず、集落内にも幟を設置し、周知、充実を図る。 ・さらに全町的な運動とするため、幟設置の協力事業所を確保する。	住 民	短 期	